

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第4回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	令和2年2月14日(金) 14時30分 開会 16時15分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 会議室2
出 席 者 氏 名	【会議委員】 横山委員、山野寺委員、信太委員、川上委員、村田委員、青砥委員 井上委員
欠 席 者 氏 名	小寺委員、鎌田委員、水島委員
事務局職員職氏名	小室総務部長、後藤政策主幹、中村政策担当主査
議 題	1 第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 2 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)フレーム ・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI ・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業費一覧 ・各施策・事業所における地方創生に関する取組 (美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策区分ベース)
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>次第1 開会</p> <p>横山会長挨拶</p> <p>次第2 第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について (資料に基づき事務局より内容説明)</p> <p>計画の全体的な部分について、質問等ありますか。</p> <p>(一同質問なし)</p> <p>(資料に基づき基本目標1について、事務局より内容説明)</p>
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年国勢調査では、町内で従業されている従業員が、町民と町外者を合わせて9,773人。給与収入が200万円超の人数が約5,600人から、この差が給与収入200万円以下という考えでよろしか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・その通り。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・200万円以下の方が4,000人程度いるということか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・給与収入者数は総数で9,000人程度。200万円を超える給与収入者数は公表されている税務調査資料から、従業員数9,773人は国勢調査から。国勢調査の従業員が給与収入者数よりも若干多いので、個人事業主が含まれている可能性もある。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人事業主は、給与は発生しないため、カウントはされない。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かなりの数、割合が200万円以下で、生活保護になる方が相当数いる事になり、目標数値5,600人が少ないという事になるのではないか。美幌町の経済を考えると、企業も大変なのかもしれないが、こういう状況では非常に厳しいと感じる。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員数9,773人全てが生産年齢人口の内数ではなく、65歳以上で年金収入がありながら、給与収入もある方は相当おり、データ上の一致はしない。 ・税や保険の扶養の関係から収入をあえて抑えている方もいるため、単純に割合が低いということにはならない。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・2040年の人口は、研究機関が何ヵ所かあると思うが、数値の差異はないか。北見市の会議で1回目と2回目で示された人口数値に差異があった。 <p>数値の出し方により11,941人としながら、12,000人という数字もあり得ると思うが、その辺を調整する必要性がないか。</p>
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌町としては、11,941人と14,500人の2つのみ。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>社人研が現状の出生率等により、2040年人口で11,941人と推計している。対策を打つことで、14,500人まで引き上げるのが、今回の計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北見市定住自立圏の会議における1市4町で作成した資料では、人口に差が出ている。美幌町の数字は良しとしても、自立圏資料の中で資料に差が出てしまうと、他の計画と辻褃が合わない事業展開になってしまう部分もあるので、整理をしていただけるとありがたい。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> 1期目同様、社人研の数値を基に委託をかけて策定しており、町が出している数字はこれだけである。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> 可能性として、美幌町は変更していないが、1期戦略策定時に希望的観測で人口推計・目標設定していたとすると、2期戦略策定時に目標人口を変えざるを得ない自治体がでてきているという話は聞いている。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> 資料3のアスパラ支援について、具体的に戸数を増やすのか、または1戸あたりの生産量を増やすということなのか。 冬姫は生産農家が6件から5件となる中、5件の生産量を増やすのか、5件から農家戸数を増やすという考えなのか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> 国の補助制度に加え、農業推進事務で町とJAで独自支援をする内容となっている。ハウス1棟の初期投資が200万円程度必要なため、自己負担を軽減することが今回の目的となっている。1戸の生産量を増やすという取組と新規の方も一部いると聞いている。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> 冬姫生産農家の6件が5件になったことは非常に残念なので、戸数が増えるということではなく、あくまで5戸の収益が上がる仕組みづくりということか。
山野寺委員	<ul style="list-style-type: none"> 生産の基礎となる株をつくっているみらい農業センターの株数を大きく増えることは難しいため、例えば生産農家戸数が増えたとしても、追加の株をつくる体制を新たに用意しないと全体量は増えない。後は生産量を大きく左右する株自体の養分が1年半で、どのくらい蓄えられたのかというところが大きく左右する。生産量的にはそちらの要因の方が大きいと思う。株の生産体制について別な方法を考えない限り、生産農家戸数は5件から増えたとしても元々の株の量は増えない。ただし、今回ハウスの助成を始め、冬姫と併せ他のアスパラを増やす体制を町と農協で整えている。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ハウス1棟を用意するために、約200万円の資材費が必要となる。アスパラは初期投資が非常に高く手を出しづらい部分があるため、国の補助に加え、JA、町の補助で約150万円補助し、農家負担を50万円程度まで抑えようとするもの。その程度の負担であれば、初期投資に踏み切るというというきっかけづくりを新年度予算で用意した。予算は15棟分を予定しているが、12、13棟分と予想する。いずれにせよアスパラは高収益のため、株の課題もあるが、少しでも産地化を図り、美幌のアスパラを売り出して行こうという流れ。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌といえば冬姫含めアスパラのイメージが非常に強いので、更に伸ばしていただければありがたいと思う。 他、意見等はあるか。 <p>（一同質問なし）</p>
横山会長	<p>基本目標 2 について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（資料に基づき事務局より基本目標 2 の内容説明）</p>
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の従業者について、津別の 3 3 1 人は多分丸玉産業が大きいと思うが、大空の 3 6 4 人というのはどういった要因か。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・内訳はわからない。空港関連は一つの要因かもしれない。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市から町内従業員として 7 0 6 人いるが、会議所で把握しているか。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが公務員絡みで、自衛隊と学校の先生だと思う。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌駐屯地の隊員数はほとんど変わっていないにもかかわらず、住民税を納めていただいている隊員の数が、数年前と比較して 1 0 0 人程度減少している実態はある。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他はクレードルも要因と思う。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・クレードルは交代制という事もあり、作業人数は相当多い。大空町は空港の他、J A もいらっしゃるか。
山野寺委員	<ul style="list-style-type: none"> ・J A はほとんどいないと思う。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・業種によって、夫に扶養され町外からの従業員もいると思う。 町外からの従業員全員がターゲットにはならないと思うが、業種によってターゲットを絞って対策することも必要と思う。
川上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム促進補助事業は、今住んでいる方全員を対象とするのか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム、町産材活用事業は、町民を対象にしているため、例えば北見市に住んでいる方が、制度を使い移住する方も含めている。特にここでは、町外から美幌へ通勤している方や町民の方で周辺市町村含め、住宅取得を検討している方への支援策と考えている。
川上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・差別化を図る必要はないか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書を整理すると、そういう議論になると思う。所得制限なども含め、今後議論として出てくると考えている。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・想定であるが、自衛隊員も相当数北見市ひかり野地区に住宅を建設し

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>通勤している方がいらっしょると考える。そういう方が美幌町に固定資産を持っていただくための施策は必要になってくるのではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もう一つの要因は、自衛隊の退官後の再就職先の問題もある。企業数を比べると圧倒的に北見市の方が多く、定年後に北見市で働くことで、住宅も北見市で持つパターンも現実的にある。4月に美幌駐屯地の令和6年までの退職予定者約76名に対する企業説明会を実施する。北見市内の企業も数社参加するが、できるだけ定年後は美幌の企業で働いてほしいということで、実施する予定であり、抑制策の一環と考えている。 ・ 町産材の活用促進について、認証材の出荷がゼロに近い状況の中、今後どのように進めて行くのか。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町有林の認証制度は続いている。今回森林組合がやめただけなので、規模は小さくなるが、材の確保はできる状況。山の認証はやめたが、加工の資格を森林組合は持っているため、引き続き実施する予定。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者補助金の医療従事者はどこまでの範囲か。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ かなり幅広く、歯科衛生士含めて非常に広く対象にしている。
川上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護事業者は入るのか。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護事業者は、別事業で助成している。利用は結構多い。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者補助金は2段階になっており、町内外問わず就業支援補助として1年あたり25万円として3年間、更に住宅準備補助として町外から引っ越してきた方に、引っ越し費用として単年で20万円支援する。これに該当する方が移住施策の指標としてカウントしている。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の補助制度はいつから実施しているか。また、引っ越し費用も含まれるか。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職は人材確保が難しく、介護事業所にどういった支援・きっかけがあれば、人材確保につながるか調査したところ、初任者研修費用、資格取得に助成して欲しいというニーズがあり、現在実施しているのは、初任者研修に8万円の助成、資格取得する場合は13万円の助成と2本立てとなっている。ここ2年くらい実施しており、更なるニーズがあり、追加助成となれば、相談・協議していくことになる。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵和福祉会から頼まれた経過があって、以前津別町が引っ越し費用の助成があり、結果津別を選択した経過がある。医療従事者に対する補助があり、引っ越し費用も対象となるならば、介護職もという思いはある。会合等でニーズの確認、検討いただければと思う。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者確保策も子育て支援策も各市町村の奪い合いという言葉が適切ではないと思うが、そういう印象が強い。本来、国が施策を打つべき面もあると思うが、そう言っていられない場面もあり、市町村

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
川上委員 小室総務部長 中村政策担当主査	<p>によって奪い合いの状況になっていると思うが、非常に悩ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護医療事業者とすることはできないか。 ・今後検討させていただく。 ・資料3について、予算で例えば施策1農林業では2億4,500万円の予算投資が、うち一般財源とは町税がどの程度投資されているかということで、ここでは1,900万円となっている。施策毎に集約されているが一部再掲載事業は、予算上の区分が不可能だったため、金額が重複している。限られた予算をどこに使うのかということ議論しなければならない。
横山会長	他、委員の皆さまから意見等ありますか。 （一同質問なし）
横山会長	それでは引き続き、基本目標3について、事務局より説明をお願いします。 （資料に基づき事務局より基本目標3の内容説明）
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率について、全国で1期伸びた自治体があれば、どのような取り組みによって伸ばしたのかということも聞いてもらうようにしたら良いと思う。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌高校の入学者について、2015年の国勢調査では全体715人に対し町内通学者437人で、61%が美幌町に残って通学している。教育委員会で把握している数字で、統計値と数値の取り方に違いはあるが最新情報で、全体515人に対し町内通学者206人という事で、町内通学率は40.7%となっている。今年は更に町内進学率が落ちるのではないかとされており、北見の高校と美幌高校の間口の関係もあるが、絶対数が減りつつ、町内に残る率も落ちているという厳しい現状にある。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の出願者発表では、北見北斗、柏陽は、定員を相当オーバーしているため、志願変更して美幌高校に来てもらうことを期待するしかない状況である。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興事務で1,000万円を超える予算が美幌高校へ支援されている。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回会議で、井上委員から部活動の充実のご指摘をいただきました。美幌はスポーツが盛んで、小学生で54%が少年団活動を行っており、中学生では6割を超える生徒が運動部に入っている。ブラバンもあるので、そこからも6割という割合は多いと思うし、全体として全道大会に行くなど部活動も強い。勉強も当然であるが、部活動の充実も当然必要である。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の充実は、子供たちの中では大きいところ。人数が少ないと先生の人数も少なくなり、できる部活動の数も減るといふ悪循環になる。例えば、公立高校でも外部コーチを導入し、少年団活動してきた流れで、美幌高校でも部活動ができれば、もう少し数値的にも増えるかと。現状では、美幌高校でいいかという人が正直多い。今年は商業高校が増えていて、商業系の科も入ると、北見の方からも美幌に多少来るのではないかと。商業科は網走と北見があるが、間なので、美幌にも他から入って来れるのであれば、科を増やすとか。現状は、北見の高校か部活の強い高校に行くという選び方が多いと思う。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> 農業科に入学する保護者の負担を軽くするため、10万円の修学助成を始めたが、なかなか効果が出ていないこともあり、農業科も大切だが普通科も大切。 町内の中学生は毎年150人程度卒業し、皆入ってくれば4クラスで問題ないが、現状は半分も入っておらず4割くらいまで落ち込んでいる。後は北見の高校へ行ってしまふ。 選んでもらえる高校にならなければならず、新年度から農業科に限っていたものを普通科の生徒保護者にも就学助成をすることになった。まず入ってくださいと。そして高校でしっかり魅力を高める高校づくりを行い、しっかり学んで欲しいと。そういう流れをつくり、何とか少しでも町外から来てもらう事ももちろん、地元の高校でしっかり勉強しようと思ってもらえるように取り組んでいくことが大切。なかなかこれをやれば良いというものもなく、皆で知恵を絞っているところ。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> 美幌高校の生徒は、どう考え高校生活を送っているのかと。いい高校だと思っているならば、下の世代に発信することも良いかもしれない。皆が北見に行くという流れが、なんとなくできていたので、仕方なく行く、落ちたから行くとしか思えない子が多い。もっと子供たち自身が分かる様なものが必要か。 学校祭をやっているのはわかるし、全町的にチラシなどで知らされたりするが、わからないので行こうともならない。もし町ぐるみで高校支援というのであれば、子供たちが行きたいとなるよう、今通っている子供たちも充実できているかということも含め、どういう風にしていけばよいのかなと。実際に通っている子供たちの方が分かると思う。そういう意見も下の子どもたちに伝われば違ってくる。自分は美幌高校出身で、当時北見の高校に行こうと思えば行けたが、あえて美幌高校を選び、とても楽しかった。 美幌高校は今、とりあえずいやだからという事を言っており、なぜそんな感じになるのか自分自身もわからない。自分の子も美幌高校には行かないが、学力や自分のやりたいことができないと言われてしまうと強く勧められないし、無理やり地元へとも言えない。 補助金も一時的には嬉しいかもしれないが、美幌町に根付く人材になるのかはちょっとわからない。先ほどの介護の件も、資格取得するのにお金を貰っても、とりあえず資格取得しておこうという主婦はいるので、もし出してもらえらるなら、取った後に1年くらい美幌町で働い

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>てくださいという様なお礼奉公制度の様なものと少し増えるのかなど。介護職員も給料が少なくて大変とも聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者も行くたびに介護職員も変わっているから、不安であることも聞いている。美幌町の介護に関わる人たちも美幌町で働きたいと思える環境だと良いと思う。 ・藤幼稚園は新築され預かり保育を実施している中、大谷幼稚園も一時話が出ていたが、どうなっているか。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷幼稚園も国と園で協議し、最終段階に来ている。国に認められると、新年度には園舎の一部を改修することになるので、来年春から若干受け入れ人数が増え、今は3歳から5歳となっているが、0歳から5歳までになり、20から30人程度受け入れ人数が増える見通し。幼稚園から認定こども園に変わろうとしている。
横山会長	<p>他、委員の皆さまから意見等ありますか。</p> <p>（一同質問なし）</p>
横山会長	<p>それでは引き続き、基本目標4について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（資料に基づき事務局より基本目標4の内容説明）</p>
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌高校生の町内企業就職者数の目標20名について、企業側が20名程度しか受入できないということなのか、または卒業生がだいたいその程度しかいないという事なのか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者が年90名程度でうち約5割から6割が進学、就職は40名程度。うち約半数の20名を町内企業で就職確保したいという考え。地元就職には駐屯地も含んでおり、JA、信金、役場などが含まれる。警察官など町内で雇用確保が現実的に難しい職種もあり、現状26人が町内雇用しているところ、生徒数が減少している中、20名は地元で確保したい考え。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業として毎年20名程度の雇用の枠はあるということか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなる。
横山会長	<p>他、委員の皆さまから意見等ありますか。</p> <p>（一同質問なし）</p>
横山会長	<p>それではここまで基本目標1から4まで全体案についての説明をいただきました。改めて振り返り、全体を通して何かありますか。</p>
川上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌高校の教員は人事権が道のため、町で選ぶことはできないのか。特徴ある先生をなど。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・道の人事になろうと思うが、正直政治の世界もあると思う。
小室総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば野球などでという引き合いは道内でもある。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・部活に特化した先生を町で雇用するケースは公立高校でもあると思う。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・先日中学ラグビーで、オール北海道に美幌ラグビー少年団から4人選ばれたという道新記事があった。今、美幌高校ラグビーの監督も当時花園へ行った橋本先生の教え子かと。ラグビーは美幌高校、今後強くなると思う。少年団から美幌高校へ行って、一気に花園となるとまたイメージが違ってくる。 <p>その他として事務局から何かありましたら説明をお願いします。</p>
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の戦略案で進めさせていただけるという事になれば、来週水曜日から30日間パブリックコメントとして、町民に対し意見募集を行う。パブリックコメントで特段変更なければ、3月末までに2期総合戦略を完成するスケジュールとしている。なお、人口ビジョンは、第1章で統計値の置き換えにより修正するため、委員の皆さまへ3月末までに完成版として配付させていただきたい。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・予算資料の内数で丸がついているのはどういうことか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば1番目の事業である農業推進事務について、全体事業費と一般財源である町税の金額を記載したうえで、内数に丸がついている。事業目的であるアスパラ振興以外の事業費も含まれているので、アスパラ振興事業は全体事業費の内数であることを示している。 ・丸のついていない例えば農業振興施設等整備事業は、事業概要に記載されているスマート農業全てが全体事業で表示されているということを表している。 ・町の予算は事業を特化した予算と全般予算に分かれており、農業推進事務はまさに複数の事務が混在した内容となっているため、全体事業費の内数となっている。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見等なければ、この後約1か月間パブリックコメントを実施し、何もなければ3月下旬までには人口ビジョン含めて、皆さんにお示しさせていただく。パブリックコメントで意見があった場合は、皆さんにどういった形で周知するか。
中村政策担当主査	<ul style="list-style-type: none"> ・仮に大幅な修正があった場合は、再度委員会にお諮りさせていただいたうえで進めさせていただく。特段何もなければ、書面報告させていただく。
横山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールは説明のとおりとなり、何かあれば皆さんにご協力を賜りたい。
後藤政策主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・2期戦略の完成後、14,500人を目指していく中、戦略に掲載されている事業が全てではないと考える。戦略をより見やすくすることに重点を置いたのは、今後町の取組として抜け落ちている部分などが

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>横山会長</p> <p>後藤政策主幹</p>	<p>見えてくるはずであり、2年目以降の更なる戦略推進のため、皆様から随時意見をいただきたい。そういった視点で戦略を見ていただき、今後議論、検討させていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見などあった場合は、直接事務局へということによろしいか。 ・随時意見はいただきたい。来年度、町民ニーズ、課題を見つけるため、住民満足度調査を実施する。 <p>横山会長閉会挨拶</p> <p style="text-align: right;">了</p>